

令和3年度 第2回加西市人権教育・啓発推進懇話会 議事録

日時	令和3年11月5日（金） 午後1時30分～2時30分
場所	加西市役所 5階大会議室
議題	指針見直し策定方針等について (1) 指針の素案について (2) 今後のスケジュールについて (3) その他

1. 開 会

事務局

まず前回会議での質問への回答を申し上げる。

この指針は誰に向けてのものかという質問について、市民に公開するという意味で市民向けのものである。また、市職員、教職員、公民館職員、医師・看護師を含む市立病院の職員等は、この指針をもとに市民の人権が尊重されたまちづくりが実現できるよう努める。

改定時期については、おおむね5年で見直しを行うものとする。

平成20年改定の指針の検証について、説明が不足していた。前回会議の資料②に検証結果を課題としてまとめていた。また素案にも「加西市の現状と課題」ということでまとめている。

座長

次回の会議が最終検討となるので、活発なご意見をお願いしたい。

2. 協議事項

(1) 指針の素案について

【事務局より指針全体の構成について説明】

委員 A

課題は重要だが、人権尊重の理念をベースに置きながら課題を考えていくということで、「加西市の現状と課題」の後に、理念の項目が必要ではないか。

事務局

再度、検討したい。

委員 B

理念を定めるのであれば、上位計画との関係性やバランスが必要だ。

座長

「全体を通じた重要な視点」が最大の方向という理解で良いか。

事務局

個別の人権課題がたて申だとすると、全体を横断的に貫く形で、重要な視点を記載している。

《事務局より現状と課題について説明》

委員 B

地域共生社会の実現を、人権問題として捉えてよいか。障害のある人を誰が支えるかという問題はずっと以前からあって、最近は親が抱え込んでしまうという傾向に変わってきた。サービスの絶対量が少ないという課題もある。これらは障害福祉計画の中で出てくる課題ではないか。人権とどう結び付ければよいか。

事務局

こういう問題もあるということを知っていただくことも重要だと考える。

座長

指針として広く網羅する必要もある。

《事務局より全体を通じた重要な視点について説明》

座長

この項目の冒頭に、他の項目と同様、柱書き（説明文）が必要ではないか。見出しでわかるので、なくてもいいかもしれないが。

《事務局より、人権教育・啓発の推進について説明》

委員 B

人権教育と啓発とに分けてあるが、両者は違うのか。啓発も教育ではないのか。「保育士や教職員」「園や学校」などとあるが、整理が必要ではないか。

《事務局より、主な人権課題と取組の方向について説明》

委員 B

子どもに関する取組内容で、女性の部分ではパワハラやDVなど具体的な虐待事案が示されているが、子どもにはそれがない。児童買春や児童ポルノなど、具体的なものは書かなくてよいか、また、子どもは自分で自分を守れという感じも受ける。

障がいのある人に関しては、「交流の機会を設け」などとあるが、これは障がい者と健常者は違うものだという前提になる。「障害者権利条約」では経済・政治・社会などで均等に機会を（保障）さ

れと書かれている。加西市の「障害者基本計画」では、障がいのある人もない人も互いに認め合い支え合い安心して暮らせる共生社会の実現を目指すと書かれており、交流という言葉は使っていない。

同じ場所で生きている障がい者が手を取り合っという意味合いで書いたほうがよい。交流という表現は避けたほうがよいのではないか。

虐待の問題で、雇用者でもある一般企業でも虐待は発生する可能性があるので、一般企業も入れたほうがよい。

委員 A

新型コロナウイルス感染症について、今後のことを考えたら感染症でくったほうがよいのではないか。

座長

全体を通じていかがか。

委員 A

「全体を通じた重要な視点」は大事だと思う。素案の5ページ下から3行目に「人権文化をすすめる市民のつどい」などが記載されているが、例えば「人権の尊重を感性として育み」や「差別や偏見がなく日常生活の中に態度や行動で表れるような」など、説明書きがもう少しほしい。時代が変わっても貫く骨のようなものが必要ではないか。

人権の基本は命であり、差別や偏見をなくして一人ひとりが生き生きと自己実現でき、共生の心を養うということだと思う。それはどういう時代になっても、どういう課題があっても貫くべきベースだと思う。

座長

全体を通じて、前回の意見を踏まえてきれいにまとめてもらったと思う。「本市」という表現が多いような気がする。省けるところは省いてもよいのではないか。

(2) 今後のスケジュールについて

事務局

次回の懇話会は、12月17日（金）に開催したい。指針の最終案をご協議いただく。

副座長

「加西市の主な課題」と「主な人権課題の取組」は、課題を踏まえて取組はこうだといった形で、もう少しリンクした表記が必要なのではないか。例えば主な課題の「①人権教育」「②地域共生社会の実現」は、「主な人権課題の取組」との関係性において少し浮いたような関係になっているので、少し考えた方がいいかもしれない。

また主な課題の中で、市が長年取り組んできたこともあるだろうし、取り組めていないこともあ

ろうかと思うので、整理が必要ではないか。

人権教育と啓発については、「人権教育啓発推進法」がある。毎年11月に「人権白書」が出されるが、その中で教育と啓発が整理されている。それらも見ながら整理すればよいと思う。

障がい者に関して「交流」というのは加西市の現状と合っていないのではないかという意見もあったが、今はインクルーシブとしてみんなが参加できるという意見だと思う。通り一遍の言葉ではなく、もういちど精査した方がよいのではないか。市の中で齟齬を感じる文言については修正が必要ではないか。

(3) その他

(特になし)

7. 閉会